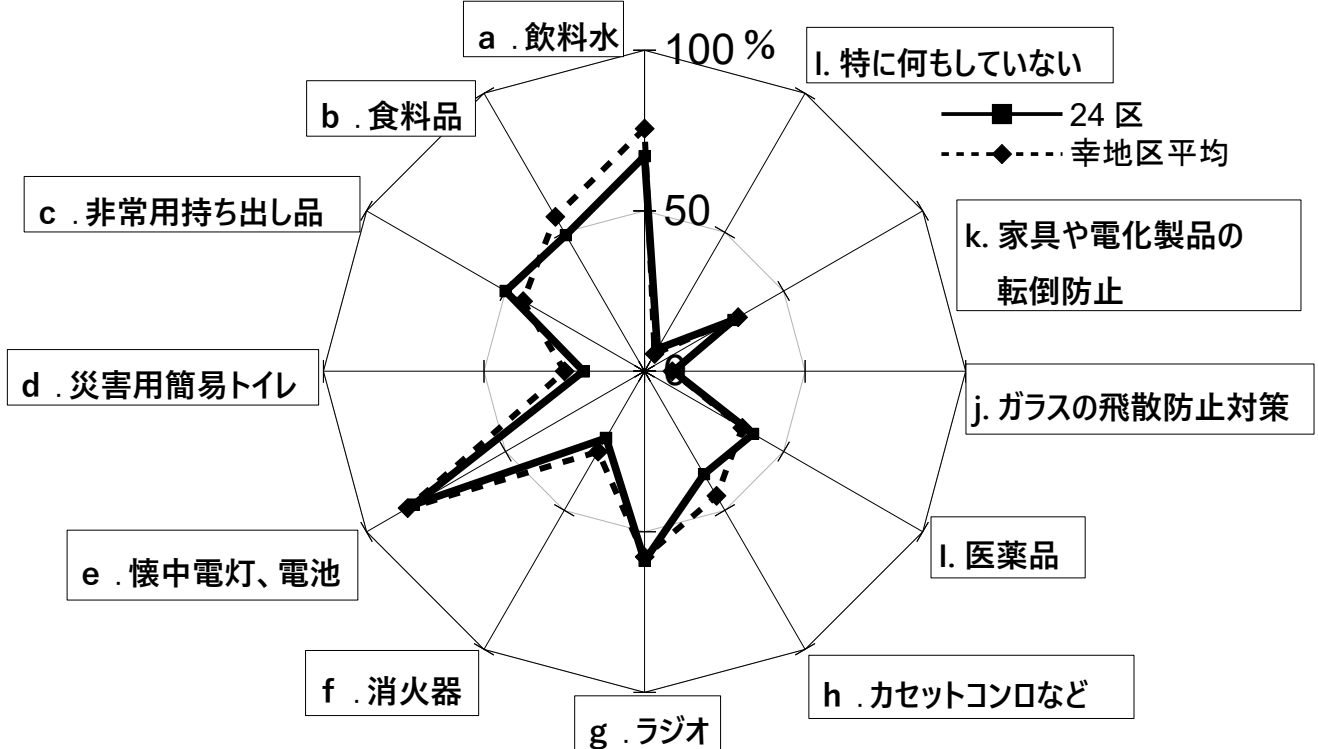
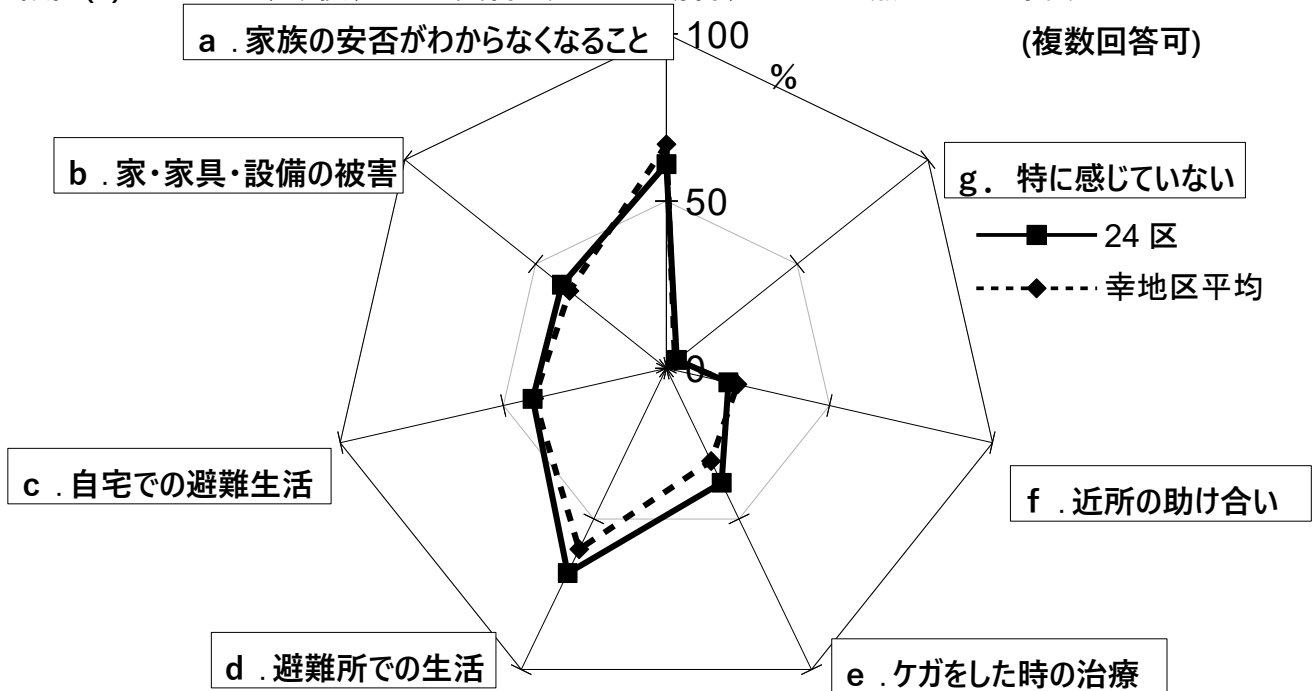


設問(1) あなたは、自宅でのどのような減災対策および備蓄をしていますか？(複数回答可)



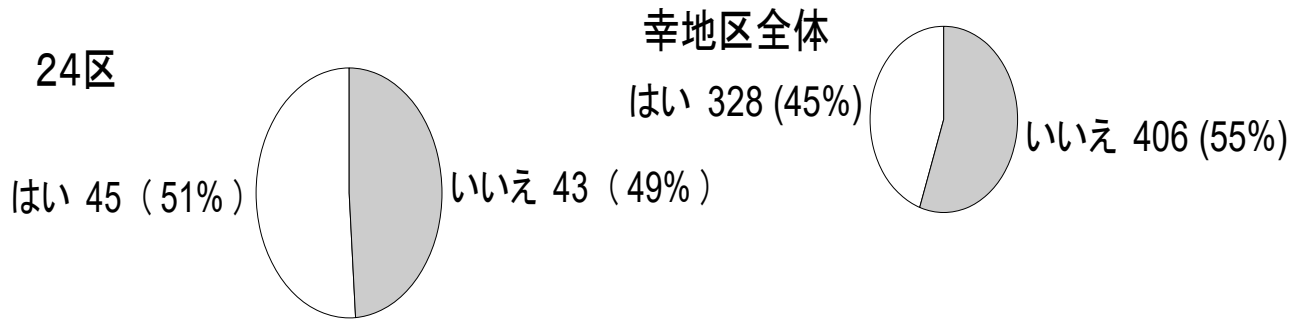
コメント:全体の傾向として、被災後の生活に対する備え(飲料水、食料品の備蓄)に関心が向いているようです。地震発生時に死傷の一番大きな原因となる家具の転倒やガラスの飛散防止について備えている方が少ないのが心配です。この方面での対策に関心を向けていただければと思います。参考資料を是非ご覧になってください。

設問(2) あなたは、今後、大きな災害が発生した場合、どのような点について不安を感じますか？

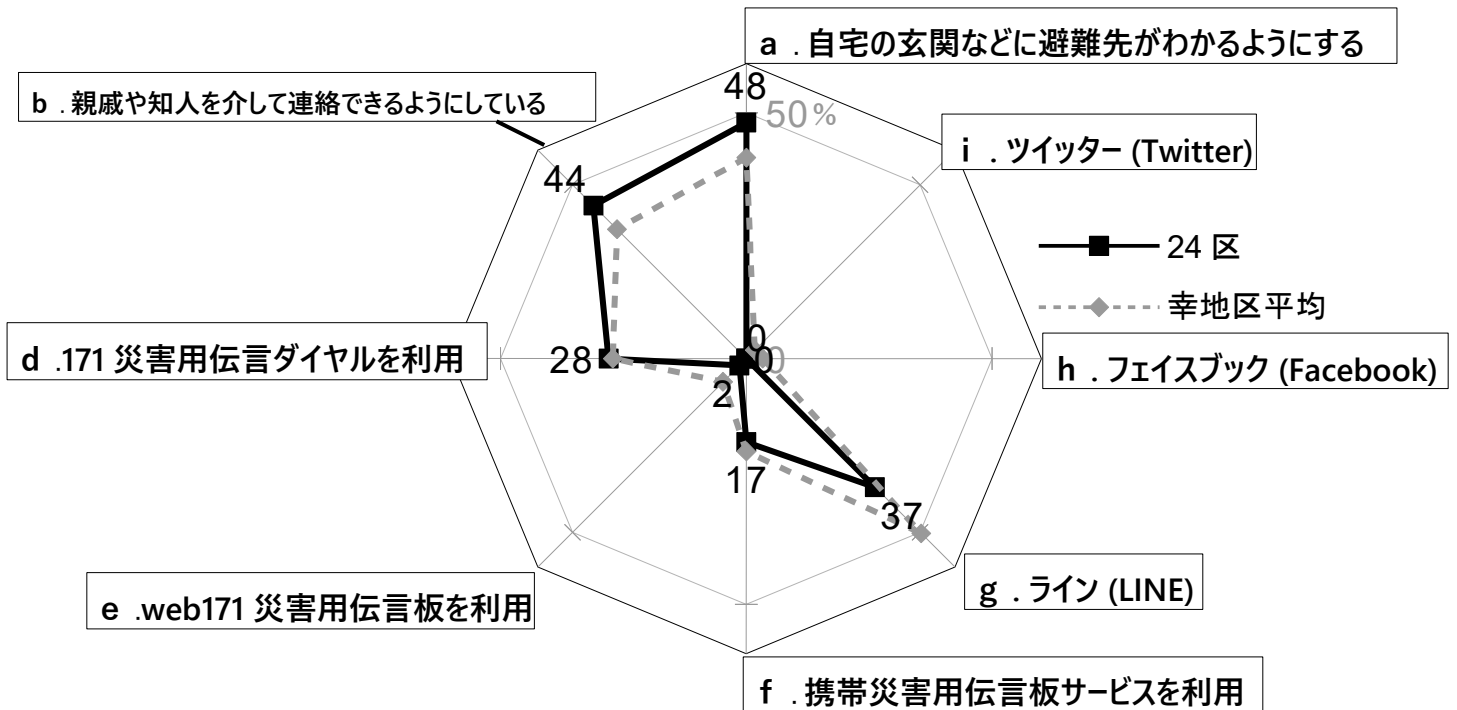


コメント: 家族の安否がわからなくなることに不安を感じている方が多いようですが、安否確認の方法についてご家族の間で決めていない方が多いようです。どんな方法でも良いので、複数の方法を決めておくといいと思います。また避難所での生活についての不安も大きいようです。普段から、近隣の方との交流を持っておくだけでも、避難所での共同生活の際 心強いのではないのでしょうか。

設問(3) あなたは、家族や身近な人との安否確認方法を決めていますか？

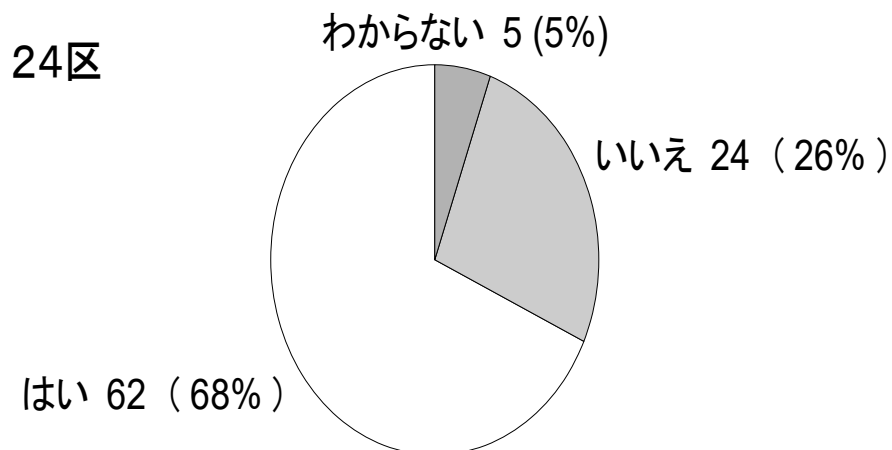


設問(4) 設問(3)で“はい”と回答の方、それはどのような安否確認方法ですか？

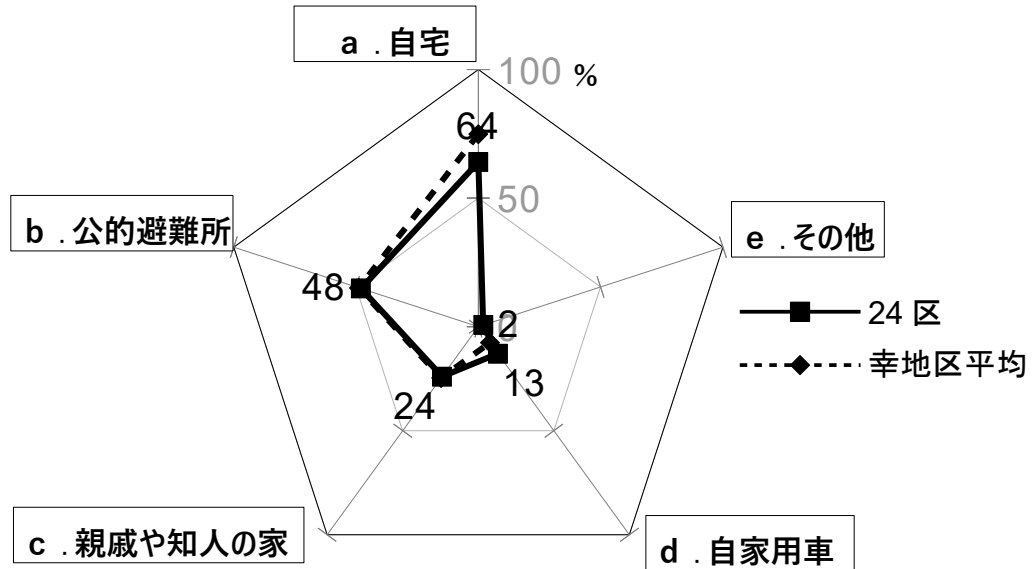


コメント：他地区に比べ、発災時の安否確認についてご家族の間で決めていない方が多いようです。この機会に、安否確認の方法や、避難場所について話し合っておくようにしましょう。

設問(5) あなたのお住まいは、1981年耐震基準（昭和56年6月1日）以降に建築された家ですか？

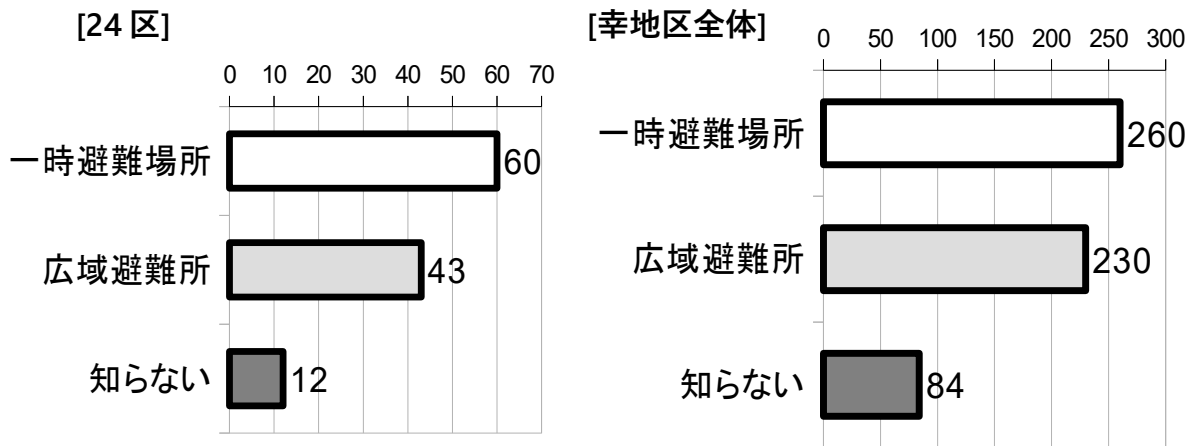


設問(6) あなたは、被災した後、どこで生活することを想定していますか？(複数回答可)

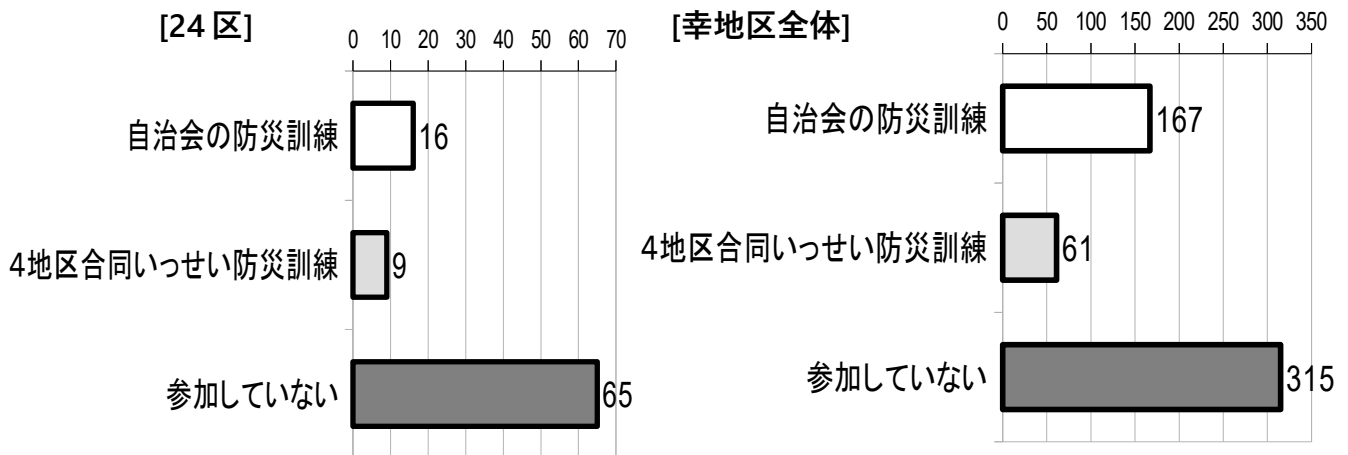


コメント:被災後、自宅での生活を望んでいる方が多いです。  
 安全が確保されているならば、公的避難所での生活よりストレスが少なくすみます。  
 そのためにも、ご自宅の耐震化、家具の固定等をし、余震発生時でも安全の確保ができるようにしておきましょう。

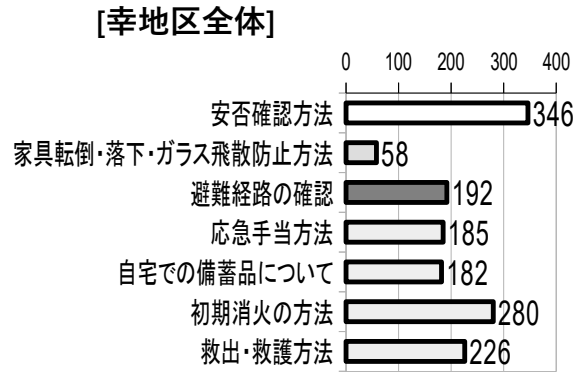
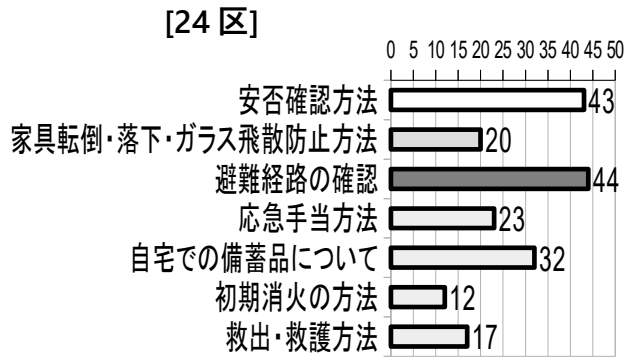
設問(7) あなたは、この地区の避難先をご存知ですか？(複数回答可)



設問(8) あなたは、昨年どんな防災訓練に参加しましたか？(複数回答可)

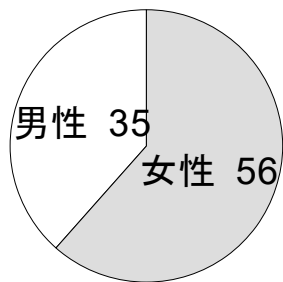


設問(9) あなたは、今後どのような防災訓練を実施して欲しいですか？(複数回答可)

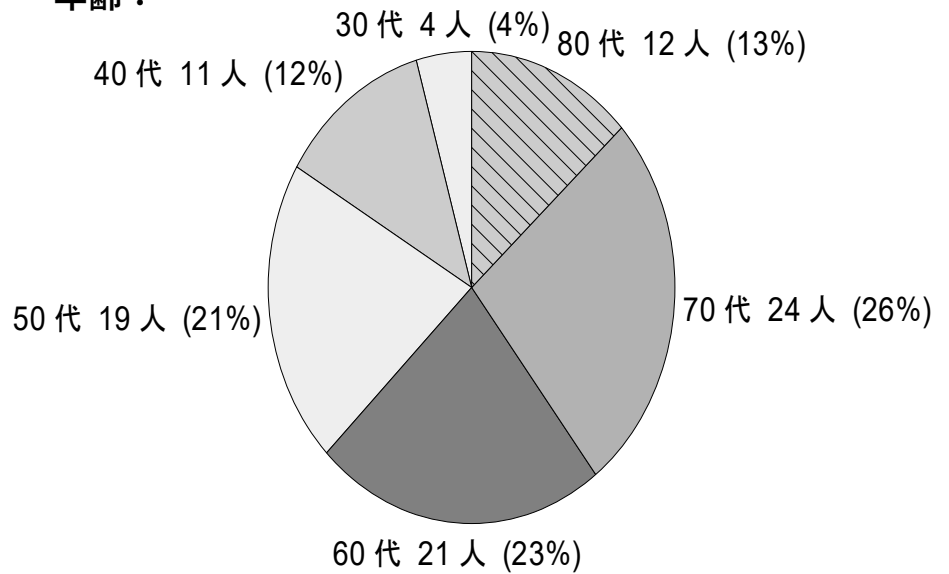


設問(10) 回答された24区の方について教えてください

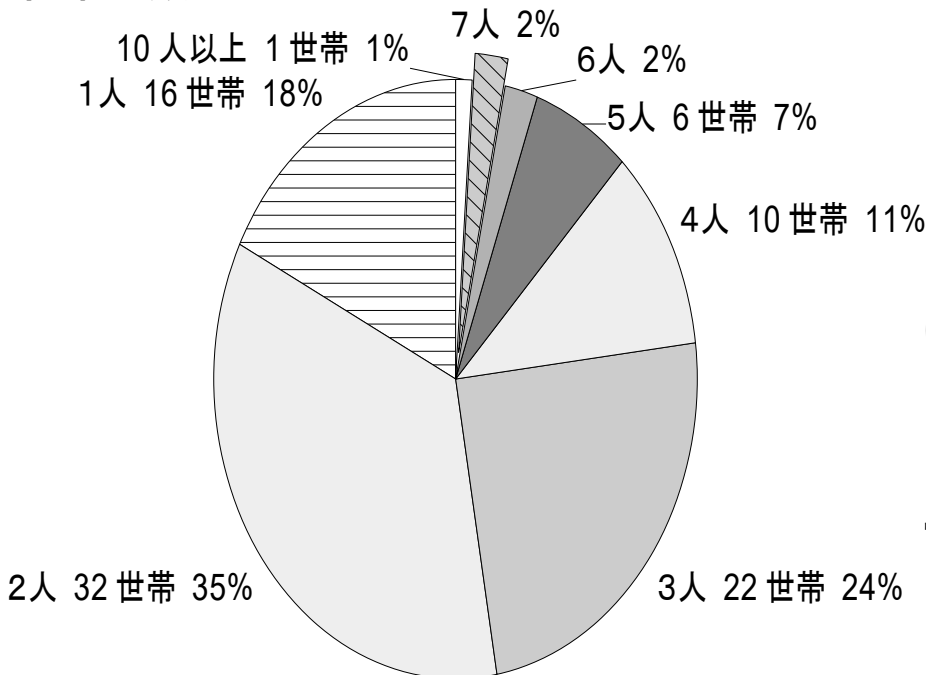
性別：



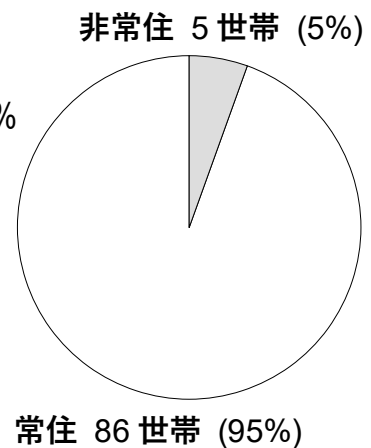
年齢：



世帯人数：



居住状況：



	合計
世帯数	117
回答数	91
回収率	78%

